

モンゴルへのいざない

島根モンゴル友好協会

岡崎 秀紀

モンゴルとのつきあいは、92年夏のアルタイ山脈の登山に始まる。冬にはマイナス40℃ともなる厳しい自然環境のもと、大草原で家畜、家族を大切に生きている牧民の姿に、尊敬の念を禁じ得なかった。留守中に旅人が食べ、無くなった食糧を見て喜ぶ民族である。

「菜の花忌」で語り継がれる司馬遼太郎は、広い視点で歴史と日本像を語った。蒙古語科出身の作家は、中国の周辺民族の立場からモンゴルを取り上げた。

『街道を行く モンゴル紀行』（朝日文庫）は、ウランバートル、ゴビの紀行である。旅で出会った女性ツェベクマさんは、満州、シベリア、モンゴルの草原で、日本・中国・ロシアの近代史の流れに人生を翻弄された体験を持っていた。「わるく生きるよりもよく死ぬ。という諺が、モンゴルにあります。夫の生涯をふりかえって、その諺どおりだったと思っています。」彼女を主役とした叙事詩ともいべき作品が、『草原の記』（新潮社）である。

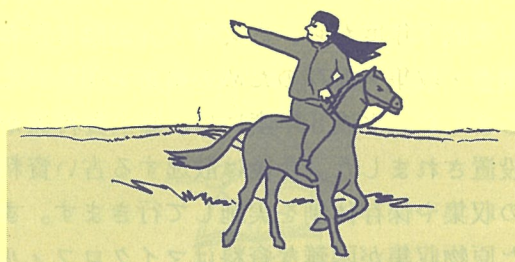
『ロシアについて 北方の原形』（文春文庫）は、日本・ロシア・中国にはまれた

内陸の小国モンゴルの歴史と運命を北方から俯瞰する。

国民作家の井上靖は、モンゴル、シルクロード舞台の作品が多い。『蒼き狼』、『敦煌』（新潮文庫）は、チンギスハーンの生涯、生と死を描いている。西夏は13世紀に滅んだが、彼は六盤山麓で英雄としての生涯を閉じた。今の寧夏回族自治区の南部で、島根県の友好自治区である。

若い人には、軽妙な椎名誠が受けよう。『草の海 モンゴル奥地への旅』（集英社）は、モンゴルの自然と人々に取材し、例のシーナ調で写真とともにまとめている。モンゴルにハマリ、民話を軸に映画「白い馬」も製作した。裏話は「馬追い旅日記」（集英社）に詳しい。

モンゴルの自然と文化、さらにシルクロードの歴史とロマンに想いを馳せたい。



平成9年度 島根県

講座名	万葉集を読む会	出雲国風土記を読む会	古文書を読む会	
			近世	キ 史 歴
開催日	毎月第2木曜日	毎月第2金曜日	毎月第1土曜日	
時間	14:00~16:00	13:00~15:00	14:00~16:00	
講師	島根大学名誉教授 小原 幹雄	八雲立つ風土記の丘 所長 藤岡大拙	平田市立図書館 館長 藤澤秀晴	
募集人員	50名	80名	50名	
対象	一般	一般	一般	
内容	<p>現存する最古の歌集「万葉集」の解説と鑑賞を行います。 原文の解説にとりくみつつ古代文化の精髓にふれる講座です。</p> <ul style="list-style-type: none"> テキスト 「万葉集 三」 新潮日本古典集成 新潮社発行 	<p>わが国でただひとつ完本として残っている「出雲国風土記」を講読しながら古代出雲の実相を把握し郷土のもつ深い歴史性を理解する講座です。</p> <ul style="list-style-type: none"> テキスト 「出雲国風土記」 加藤義成著 報光社発行 	<p>郷土に関する近世の古文書をテキストに読解や当時の郷土を知る講座です。</p> <ul style="list-style-type: none"> テキスト 毎月、当館で印刷したものの代金は6ヶ月毎に500円 	

◎会場はいずれも県立図書館集会室です。

◎受講料は無料です。

平成9年度 館内資料展示計画

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
テーマ	尼子・毛利氏と戦国時代	「地域伝統芸能全国フェスティバル」の開催によせて	「古代出雲文化展」によせて	手紙に関する資料展	世界遺産に関する資料展	出版に関する資料展	眠る前の一冊	戦後のベストセラーと世相	演劇に関する資料展	教科書にのっている「子どもの本」	冬季オリンピックに関する資料展	一九九七年の受賞作品展

※展示場所：1Fホール

《短 信》

平成7年度から、古文書・古記録などの調査・収集・保存のための事業を開始いたしました。平成8年度には、郷土資料係が設置されました。今後は散逸する古い資料の収集や保存体制を実施して行きます。また原物収集が困難な資料はマイクロフィルム

ム・複写などにより収集を行います。

平成7年度・8年度には次の資料を収集しています。

○佐々田家文書

那賀郡旭町（旧木田村）の佐々田家蔵の文書・記録類約6000点。佐々田家は尼子の流れを継ぐ旧家で、江戸時代に

県立図書館各種講座

多数ご参加下さい

む会 中世	図書館成人読書会	子どもおたのしみ会	親子で絵本を読む会
毎月第3土曜日	毎月第2火曜日	毎月第4土曜日	毎週水曜日
13:30~15:00	13:00~15:00	10:00~11:30	15:00~15:40
雲立つ風土記の丘 所長 藤岡大拙		県立図書館職員 ボランティア	県立図書館職員
50名	50名	フリー	フリー
一般	一般	小学校低学年	幼児、小学生とその親
に中世の古文書をテ トに読解はもとよりの 背景をなす郷土の に及講座です。	参加者がグループを編 成し、各グループ毎に同 一本を読み意見の交換を します。グループで話し 合うことで人生や社会に 対する見方や考え方が豊 かになり、個人の読書生 活が深まります。 ・テキスト 成人読書会用図書	絵本の読み聞かせや紙 芝居、手遊び、工作、ゲー ムなどを交えた楽しい会 で、本と友だちにてであ えます。	当館職員による絵本の 読み聞かせをします。 親子で集団読み聞かせ の楽しさを味わい、絵本 にしたしみませす。
配ります。			

申込み方法は直接又ははがきか電話で「受講希望講座名、住所、氏名、電話番号」を
〒690 松江市内中原町52番地 島根県立図書館奉仕係 TEL 0852-22-5734

は村役人を勤めた家。明治期に出た佐々
田懋^{すずむ}は政治家・実業家として著名な人
物で、文書群には多く関係資料がある。

- 広島大学附属図書館蔵土地租税資料
一般的に検地帳類として知られている資料群。近世から明治初年までのものであり、基本史料である。約20万枚。6年計画でマイクロフィルムに収録する予定で撮影開始した。

- 広瀬藩絵図、出雲国・隠岐国正保国絵図
写真により、ほぼ原寸形で閲覧が可能

図書館づくりシンポジウム

9年度秋開催予定

図書館のあるまちの良さを知らせてもらおうと、市町村職員から一般の方まで広く参加を呼びかけます。詳細は8月以降発表予定。

☆町村図書館づくりセミナー開催予定

図書館建設を目指す町村担当者のために、日本図書館協会が主催するセミナーが今秋、松江で開かれます。

☆幼児・児童読書普及モデル市町村指定 鹿島町、大社町、温泉津町、桜江町

親子読書、子ども読書活動に関する指導、援助（指導員派遣等）を2年間にわたり重点的に行ないます。



行事予定

4月

1	火	2	親子で 絵本を読む会 15:00~15:40	3	木	4	金	5	古文書を 読む会(近世) 14:00~16:00				
6	日	7	休館日	8	成人読書会 13:00~15:00	9	親子で 絵本を読む会 15:00~15:40	10	「万葉集」を 読む会 14:00~16:00	11	「出雲國 風土記」を読む会 13:00~15:00	12	
13		14	休館日	15		16	親子で 絵本を読む会 15:00~15:40	17		18		19	古文書を 読む会(中世) 13:30~15:00
20		21	休館日	22		23	親子で 絵本を読む会 15:00~15:40	24		25		26	子ども あたのしみ会 10:00~11:30
27		28	休館日	29	休館日 みどりの日	30	月末 休館日						

○館内展示…「尼子・毛利氏と戦国時代」

5月

1	木	2	金	3	休館日 [*] 憲法記念日								
4	日	5	休館日 こどもの日	6	火	7	親子で [*] 絵本を読む会 15:00~15:40	8	「万葉集」を 読む会 14:00~16:00	9	「出雲國 風土記」を読む会 13:00~15:00	10	
11		12	休館日	13	成人読書会 13:00~15:00	14	親子で 絵本を読む会 15:00~15:40	15		16		17	古文書を 読む会(中世) 13:30~15:00
18		19	休館日	20		21	親子で 絵本を読む会 15:00~15:40	22		23		24	子ども あたのしみ会 10:00~11:30 放書を読む会(近世) 14:00~16:00
25		26	休館日	27		28	親子で 絵本を読む会 15:00~15:40	29		30		31	月末休館日

○館内展示…「地域伝統芸能全国フェスティバル」の開催によせて

※各種講座は講師の方の都合により変更する場合があります。

利用案内

●休館日

毎週月曜日・国民の祝日
毎月末日(月末が日曜日にあたる
ときはその前日)
年末年始 12月28日~1月4日
図書整理休館(年2回、それぞれ10日間)

●開館時間 9時~18時

ただし、こども室は火曜日~土曜日は13時~18時
(第2・第4土曜日・日曜日および小・中学校の春・夏・冬休み期間中は
午前9時から開きます。)

●貸出し

冊数…5冊以内
期間…15日

編集発行 島根県立図書館 松江市内中原町52 TEL0852-22-5725

発行日 平成9年3月28日

FAX0852-22-5728